



5年

5月号

5月6日

学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

いつも全力で

## ★今回の道徳の授業のねらい

自分ができることを最後まで全力を尽くしてやりぬこうとする心情を育てます。

## ★お話のあらすじ

現在、メジャーリーグで活躍しているイチロー選手が、日本のプロ野球に残した大記録達成に関するエピソードを中心内容とした話です。5年間にわたって全試合に出場し、首位打者であり続けたイチロー選手の姿と「イチローはいつも全力でやっている。少年そのものだよ」という大リーグのチームメートの言葉を重ね合わせて考える教材です。

## ★子どもたちの授業の振り返り

- ☆今日のめあての「なりたい自分になるために」は、あきらめないことが大切だと思った。
- ☆イチローは、勝ち負けにこだわらず、野球を楽しんでいる人だと分かった。そして、くやしい気持ちは次にぶつけばよいと分かった。
- ☆今日の授業で、運動会やいろいろな行事には、何より全力をつくし、楽しむことが大事だと分かった。ぼくは、リレーでもうだめだとくじけそうになったけど、出せる力を出して頑張った。
- ☆イチローは「楽しくプレーしたい」という気持ちで努力もしていた。これからは失敗してもプラスのことを考えていきたい。
- ☆試合で勝てる人はやはり努力しているんだと思った。「イチローはいつも全力でやっている。少年そのものだよ。」が心にすーっと入っていった。
- ☆「試合を休めばいい記録が手に入ったけどイチローはしなかった。後悔はしていない。」という言葉が心に残った。自分が決めたことを最後まで貫くのはとても難しいが、大事だと思った。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

お子さんは、自分で決めた目標や将来の夢についてどんなことを考えているのでしょうか。まずは、しっかりとお子さんの思いや考えを聴き取り、じっくりと話し合い、たっぷりと励ましてあげ、夢や希望へ向かってチャレンジすることの大切さを自覚できるようにしていきたいものです。

また、お子さんがこれまで努力してきたことで、よいことがあったら大いに励ましてください。認められ、励まされることによってなお一層努力するものです。